

平成 2 7 年

議会運営委員会記録

平成 2 7 年 9 月 2 日

和 光 市 議 会

議 会 運 営 委 員 会 記 録

◇開会日時 平成27年9月2日（水曜日）
午前10時20分 開会 午前10時47分 閉会

◇開催場所 第2委員会室

◇出席委員

委員 長	吉 田 武 司 議員	副 委 員 長	吉 田 けさみ 議員
委 員	待 鳥 美 光 議員	委 員	村 田 富士子 議員
議 長	齊 藤 克 己 議員	副 議 長	齊 藤 秀 雄 議員
委員外議員	菅 原 満 議員	委員外議員	吉 村 豪 介 議員
委員外議員	金 井 伸 夫 議員	委員外議員	内 山 恵 子 議員
委員外議員	赤 松 祐 造 議員	委員外議員	小 嶋 智 子 議員
委員外議員	安 保 友 博 議員		

◇欠席委員 なし

◇出席説明員 なし

◇事務局職員

議会事務局長	郡 司 孝 行	議会事務局次長	伊 藤 英 雄
議事課長補佐	平 川 京 子	主 事	小 林 厳

◇本日の会議に付した案件

意見書案の調整について

その他議会運営に関することについて

午前10時20分 開会

○吉田武司委員長 ただいまから、議会運営委員会を開会いたします。出席委員数が定足数に達していますので会議は成立しています。

会議には、議長とオブザーバーとして、副議長と7名の委員外議員に出席を求めていますことを報告いたします。

本日の案件は、意見書案の調整、その他議会運営に関することについてです。

初めに、意見書案についてです。

提出されている意見書案について、会派日本共産党の吉田けさみ委員から、説明願います。

日本共産党、吉田けさみ委員。

○吉田けさみ委員 それでは案文を読み上げて提案説明とさせていただきます。

原発の再稼働をやめ、一日も早く原発ゼロを実現することを求める意見書案。

九州電力が8月11日に鹿児島県薩摩川内市にある川内原発1号機の起動を強行し、14日に発電が開始されました。

東京電力福島原発事故のあと全国の原発が相次いで運転を停止して以来初めてです。

全国の原発が停止していたこの2年近く、政府や電力業界が宣伝した電力不足はおきませんでした。国民の圧倒的多数は、東京電力福島原発事故がいまだに収束していないことに心を痛め、安全が保障できない原発の再稼働に反対しています。

現在の原発では事故を完全に防ぐことができず、いったん放射性物質が外部に漏れ出すような事故が起きれば、広範囲に被害が拡散し、その影響は長期間にわたることが明らかになったからです。

川内原発は再稼働しても、規制委員会の審査で不十分さが浮き彫りになった火山噴火への対策や、地元自治体に丸投げした事故の避難計画など、問題は山積みしています。

1号機の再稼働をこのまま進め、2号機や全国の原発に再稼働を広げていくなど許されません。原発再稼働の推進ではなく、一日も早く全国で原発ゼロを実現すべきです。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

川内原発の再稼働をめぐっても、再稼働反対が共同通信の調査で55.3%、読売新聞の調査で58%が反対となっています。それから、今年の9月15日で全ての原発が停止してちょうど2年になるわけですが、1年11ヶ月の時点で川内原発が再稼働ということになりました。次は高浜原発かとも言われておりますが、御承知のように変動気象、それから地震国日本ということを考えると一日も早く原発ゼロを実現することを求めたいと思います。

以上で提案説明を終わります。

○吉田武司委員長 それでは、各会派の意見をお願いします。

新しい風、待鳥委員。

○待鳥美光委員 新しい風は基本的に賛成です。1点だけ廃棄物の最終処分ができないという

ことをこれに加えて記載していただきたいという意見が出ました。

○吉田武司委員長 公明党、村田委員。

○村田富士子委員 この内容ですが、一日も早く原発ゼロを実現するというのは公明党の方針としては変わっておらず、大賛成です。骨子の下で懸念している火山噴火への対策や事故の避難計画に関して、火山噴火だけではなく、例えばテロのことなどもあり、課題は山積みであります。基本的には大賛成ですが現実的ではないです。ただやめればいい問題ではなくて、エネルギー対策をどのようにするのかという提案や、エネルギーミックスなども提案させていただいていますけれども、議会としてもっと責任ある提案を含めた発言をすべきで、この内容では賛成できません。

例えば火山噴火の避難計画や安全対策をもっとしっかりすべきということを求めるとか、そういうほうが現実的であるし、代替エネルギーの安定供給の対策をすべきとか、そういうことであれば公明党としても賛成することができます。

○吉田けさみ副委員長 議事を委員長と交代します。

緑風会、吉田武司委員。

○吉田武司委員 緑風会としても原発をゼロにしたいという考えはありますが、原発が立地している市民の中にも賛否両論があると思います。地元の意見が一番大切に重要だと思います。先ほど反対の方が共同通信で55.3%、読売新聞で58%いるとありましたが、賛成の方もいると思います。地元の意見を重要視したいと思いますので、反対いたします。

○吉田武司委員長 議事を副委員長と交代します。

赤松委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 現在の原発の技術として、使用済み燃料の再生技術が確立されていないわけです。これがどんどんたまっていつているわけです。その1点を取り上げて完成した技術ではないのです。僕は技術畑の人間ですが、利益優先でそういうものを早く使うというのは大きな問題です。I Sとかテロ、昨今のJ Rの問題、そういうものがどんどん発展した場合、これは狙われると危険です。そういうことだけではないけれども、根本的に使用済み燃料の再生技術が確立されていない。先ほどの日本共産党、新しい風の意見と同じで、燃料を捨てる場所がないこともあって、意見書を出すことに賛成です。

○吉田武司委員長 金井委員外議員。

○金井伸夫委員外議員 私は現状では原発ゼロにするのは難しいのではないかと思います。なぜかというとならLNGなどの化石燃料をこれ以上使うことになると、地球温暖化がますます進んでいくことになるのではないかと思います。意見書を出すことに反対です。

○吉田武司委員長 齊藤秀雄副議長。

○齊藤秀雄副議長 私もこれには反対です。基本的な流れで一日も早く原発ゼロにするという文言自体は否定しません。ただし一日も早くというのには大前提があります。その大前提が抜けています。一つは経済効果です。もう一つは地球温暖化です。地球環境全体を捉えながらの

提案でなければ、一方通行的な提案は受け止められません。今のままではCO₂が確実にアップします。例えば液化天然ガス、石炭、風力、太陽光といった形でのバックアップが取れて初めて解決する話です。現段階で一気に解決しようということは木を見て森を見ずということで、もう少し提案内容を変えていただければ賛同できるという考えです。

○吉田武司委員長 日本共産党、吉田けさみ委員。

○吉田けさみ委員 いくつかの皆様のお意見に対して、意見を述べさせていただきたいと思います。政権与党が出しているエネルギー計画で主力電源を原発で、不足分を自然エネルギーで補っていくということが計画の中に示されているという問題点があります。それから先ほど化石燃料云々と話がありましたけれども、これについても風力、太陽光、地熱活用といったさまざまな形で取り組まれています。もっと政府が精力的に力をいれていくべきと考えます。それから経済効果の問題ですが、太陽光を含む自然エネルギーを活用することによって、地元の方の雇用に大きな効果があることは専門家もおっしゃっています。国のやる気があるか、ないかの違いだということをお意見として申し上げておきたいと思います。

○吉田武司委員長 菅原委員外議員。

○菅原満委員外議員 いろいろ御意見がありますけれども、やる気で電力が作ればこれほど気楽なことはないわけで、実際化石燃料を大量に消費してCO₂を出さざるを得ない状況に追い込まれています。それから原発ゼロとおっしゃいますが、実際今までも原子力発電をしておかなかったという点では実質ゼロと同じです。原子力発電をゼロにという意味がわからないのです。これから考えなくてはいけないことは全部きれいに廃炉作業をして片づけるということなのか、それとも発電しないということなのか、この文言からはわかりません。それに携わる技術的な蓄積を行うことを誰が担い、責任を負うのか。そのような点も議員であれば議論をするべきではないかと思えます。国レベルなので、できる、できないはあると思いますが、そのことを共通認識としておく必要があります。それから電気は安定的に供給してもらわないと困るわけで、経済的な問題もあります。現在新しい病院がどんどん完成しています。無菌室とか、空気の換気とか、最新の医療は当然電気を使って進んできているし、放射線関係を使った医療もどんどん進んできています。病院は電気を止められたら本当に困るわけで、止まったら臨時の発電でと言っても、それはあくまで緊急時の話で、通常は24時間365日止められてはいけません。今回電力自由化になって供給義務が大きく変わりました。日常生活にも影響が出てくるわけで、そういうことも含めて議論していかなければいけない気がしています。

それから原子力発電所の危険性を考えると、石炭火力が安いので、現在発電していますが、石炭火力のフライアッシュの問題とかでも共通認識を持っていかないと、エネルギー全体のバランスの問題もあり、意見書として出すならそういうことも考えなければいけないので、賛同しかねます。

○吉田武司委員長 日本共産党、吉田けさみ委員。

○吉田けさみ委員 いろいろ御意見がありますが、原発ゼロを目指すところでは各党派賛成と

おっしゃっているように、国民の意思を尊重しなければいけないのが国だと思います。国民はこのように考えていて、国として対策を考えていこうというのはまさに国の責任で考えていくことになると思います。議員の中でこのような議論をしようということはやぶさかではないけれども、やはり意見書を出して国に対策を行っていただきたいと思います。

○吉田武司委員長 公明党、村田委員。

○村田富士子委員 いろいろな御意見が出たように、確かに原発ゼロの社会を目指すという点ではどの会派も一致していると思います。この意見書案の内容がのめないのであれば、例えば皆さんの御意見を取り入れて作り直すことができるのか。ただ反対すればいいというものではないので、現実的に今日の前にあるものをしっかり見て、地元の意見も大事なので、それも含めつつ盛り込めることができれば意見書として出すことは可能だと思いますが、提出者はいかがですか。

○吉田武司委員長 日本共産党、吉田けさみ委員。

○吉田けさみ委員 公明党の村田委員から建設的な意見が出たと思います。皆さんの中からこういう文章に変えれば出せますという提案があれば、一致して出していきたいと思います。

○吉田武司委員長 菅原委員外議員。

○菅原満委員外議員 憲法の平和原則を守るために意見書の提出に関する陳情と同じで、具体的なことを考えていかないと、この原子力関連含めての技術をゼロにするということとは関連した技術もゼロにするということなので、相当裾野も広いです。そういうことを含めて考えていかないと、鉄の圧延の技術自体もある意味技術力を捨てることにつながりかねません。危険性を除去し、技術を向上させるとか、サイクルがまだないという議論はわかりませんが、そのようなことを考えていかなければいけないということです。もう一つはこの意見書案についての協議なので、もしまったく新しいものとなるかどうかのように考えていけばいいのか。御協議をお願いします。

○吉田武司委員長 休憩します。（午前10時38分 休憩）

再開します。（午前10時41分 再開）

その他、何かございますか。

〔「なし」という声あり〕

それでは意見書案はまとまりませんでしたので、副議長提案となりません。

次に進みます。埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙について、議長から報告があります。

齊藤克己議長。

○齊藤克己議長 埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙について、報告します。

市議会議員選出議員3名の欠員に対して、市議会議員選出議員は候補者が4名となり、選挙を実施することとなったとのこと。なお、市長選出議員は、候補者が選挙すべき議員数を超えなかったため、選挙は実施しないとの連絡がありましたので御報告します。

○吉田武司委員長 それでは、埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙のうち市議会議員選出議員についてお諮りします。この選挙は、広域連合規約第8条の規定により、全ての市議会の選挙における得票総数により当選人を決定することになります。よって、会議規則第32条の規定に基づく選挙結果の報告のうち、当選人の報告及び当選人への告知は行えませんので、会議規則第32条の規定に関わらず、有効投票のうち候補者の得票数までを報告することとなります。いかがですか。

[「異議なし」という声あり]

それでは、そのようにいたします。

この埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙は9月17日木曜日、閉会日の最後の議事として行いたいと思っておりますがいかがですか。

[「異議なし」という声あり]

それでは、そのようにいたします。

ただいまの件については、御了承の上、各会派において御周知ください。

次に進みます。その他議会運営に関することについてです。前回の議会運営委員会において、市制45周年記念事業和光市議会議場コンサートの議題は、9月14日月曜日の議会運営委員会で協議するお話をいたしました。委員から演奏候補者をお知らせいただき、候補者の予定等を踏まえ、今回の議会運営委員会で、協議、決定したいと思います。よろしいでしょうか。

[「異議なし」という声あり]

それでは、そのようにさせていただきます。では、演奏の候補者について、議長から発言願います。

齊藤克己議長。

○齊藤克己議長 それでは、市制45周年記念事業和光市議会議場コンサートの演奏候補者について、御協議願います。過日、議会運営委員会で演奏者を御依頼したところ、委員から長谷見誠様を御紹介いただきました。長谷見様は、プロのフルート演奏者として数々の音楽祭に出演され、国歌演奏者としても活躍されている方でございます。和光市とのつながりは、開館20周年記念サンアゼリア国際音楽祭に御出演いただいております。今回の紹介を受け、長谷見様に連絡いたしましたところ、8月26日時点で、12月3日開会日であれば調整可能で、費用も公費計上額で御了承いただけるとのことでございます。長谷見様の予定が今後も頻繁に入るため、14日までの猶予が厳しいことから、本日、演奏者について御協議、決定をお願いするものでございます。

ただ、長谷見様と決定した場合は、日程が12月3日の開会日となりますので、この点もあわせて御協議願います。

以上です。

○吉田武司委員長 このことについては9月14日の議会運営委員会で協議することになっていましたけれども、長谷見様の都合により、本日決定しなければいけないということで、日程が

12月3日ということも含めて各会派から御意見願います。

新しい風、待鳥委員。

○待鳥美光委員 賛成です。

○吉田武司委員長 公明党、村田委員。

○村田富士子委員 私も演奏を聞いたことがあります、素晴らしい方です。大賛成です。

○吉田武司委員長 日本共産党、吉田けさみ委員。

○吉田けさみ委員 賛成です。

○吉田けさみ副委員長 議事を委員長と交代します。

緑風会、吉田武司委員。

○吉田武司委員 緑風会としても賛成です。日程もこれでよろしいと思います。

○吉田武司委員長 議事を副委員長と交代します。

それでは、演奏者は長谷見誠様、日程は12月3日開会日でいかがでしょうか。

[「異議なし」という声あり]

それでは、異議がないので、そのようにいたします。なお、演奏者と日程以外の項目及び謝礼の詳細などは、議員研修会とも関わりますので、次回の議会運営委員会で協議することによってよろしいでしょうか。

[「異議なし」という声あり]

異議がないので、そのようにいたします。

以上で本日の案件は、全て終了しました。

次回の議会運営委員会は、9月14日月曜日本会議終了後、市制45周年記念事業、議員研修会についてです。

その他ございますか。

[「なし」という声あり]

なければ、本日の記録及び公開資料等については、委員長に一任願います。

以上で、議会運営委員会を閉会します。

午前10時47分 閉会

和光市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

委 員 長 吉 田 武 司